

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
後援会が保護者の皆さまと作るページです。

※（ ）内はお子さまの名前/学部

2014年度 支部総会・父母懇談会 報告

宮崎県支部 創立10周年を迎えて



宮崎県支部長
渡邊 和弘
(海斗/情報科学部)

今年の宮崎県支部創立10周年記念総会には、宮崎県支部の役員以外に、元役員7人、校友会より12人参加いただきました。大学の職員の方々と後援会本部役員の方々を含め、60人を超える会となりました。

当日は田中優子総長の講演をはじめ、職員の方々にも大学の現況をご説明いただきました。皆さまのご協力に感謝しております。



これまでの後援会の活動を通し、宮崎県支部役員は多くの人々とつながりをもつことができました。宮崎県支部では役員以外の会員に参加していただくことに、こだわりをもつていただくことに、こだわりをもつていただく必要であると感じ、支部の活動をさまざまな形で会員に発信しています。今回も、「総会の資料」と「総会の様子」をまとめた「文書」を作成し、参加できなかった会員に郵送いたしました。これからは、他の支部の取り組みなどの情報を取り入れながら、支部会員に法政大学後援会のすばらしさを発信する活動を続けてまいります。



福井県支部 10周年記念式典開催のご報告



福井県支部長
小林 茂美
(梨花/経営学部)

2014年夏、炎熱の日差しが眩しく輝く7月19日(土)、大学より田中優子総長、後援会より池田隆会長、職員の方、後援会役員の方、並びに校友会の方、支部後援会OBの方など多数のご来賓の方々にご臨席賜り、福井県支部設立10周年記念総会・父母懇談会・懇親会が盛大に執り行われました。懇談会では、田中総長より、江戸文化から学ぶ現代の



グローバル社会に対応した大学の創成などの内容で基調講演をいただきました。また今年4月新しく仲間になられた会員の方を中心に、個別相談・情報交換会を行いました。懇親会ではご来賓の方々も支部会員が、和気あいあいと和やかに歓談をさせていただきました。また大学からは、リーダー部とチアリーディング部の皆さんが素晴らしいパフォーマンスを披露してくださいました。会場内の熱気は最高潮に達しました。結びに全員で円陣を組み、応援団長の指揮のもと、法政大学校歌を声高らかに合唱して、式典は大盛況の中幕を閉じました。末尾になりましたが、この記念式典の成功は、前支部長小林俊明様をはじめ役員の方々の皆さまのご尽力の賜物であることをお伝えし、10周年記念事業のご報告とさせていただきます。



広島県支部 暑い熱い！30年記念総会・広島県支部



広島県支部長
本名 正憲
(佑衣/デザイン学部)

最高気温も35度になろうかという猛暑の7月27日(日)、ホテルグランヴィア広島にて、広島県支部創立30周年記念総会が開催されました。大学から田中優子総長、平塚真樹総長、長至長はじめ4人、後援会から池田隆会長、小林章総務はじめ3人の皆さまにご出席いただきました。



「世界のどこでも生き抜く力」と題した田中総長の30周年記念講演。グローバルゼーションとは何か、その波はどうして起こったか、日本に何をもちたってきたか。そしてそれに対応した人材を育てるため、まさにその変革の途上にある法政大学の今、そしてこれから語られる総長

の言葉に、参加した支部会員66人はいずれも真剣な表情で聞き入っていました。

それに続く懇親会は一転、お招きした歴代支部長・役員16人の方々にエピソードを披露していただいたり、前支部長によります神楽舞の余興も飛び出したり、また着物の田中総長を囲んで、期せずして記念撮影大会(総長、気軽に応じていただきありがとうございます)が開かれたり、まさに30年の節目にふさわしく、明るく楽しく、そして華やかな、笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。開催にあたりご協力いただきました皆さまに、あらためて感謝いたします。

さて、私たちは、これまでの30年のつながりを大きな財産とし、会員相互の絆をさらに深め、法政大学の発展に微力ながら力を尽くしていくと、心を新たにしているところです。全国の皆さま、今後ともよろしくお願いたします。



関西支部 創立20周年に新たな絆で



関西支部支部長
田村 俊二
(康士郎/現代福祉学部)

猛暑は少し和らいだものの、大阪は前日からの雨で蒸し暑い当日となりました。また、ユニバーサルスタジアムが先月オープンしたハリポッターイベント会場の人気と夏休みが重なりホテル、最寄駅の混雑が懸念されましたが、役員一同早朝集合で最終準備に取り組み8月3日(日)ホテル京阪ユニバーサルタワーで支部20周年記念総会、父母懇談会を開催しました。



父母懇談会では、田中優子総長の「世界のどこでも生き抜く力」をテーマに講演をいただきました。後援会本部の池田隆会長からは祝辞を頂戴し出席父母一同感謝し感謝申し上げます。

げます。職員の方からは学生生活上の注意点、特に危険な誘惑、昨今問題が大きく指摘されているドラッグや就職活動の本年度からの変更等を説明していただきました。個別懇談情報交換会での質疑応答など参加父母には有意義な会であったと思えます。続いて行われた20周年記念懇親パーティーは、ホテル最上階で大阪湾を展望しながら歴代支部長や校友会の皆さまのご臨席を賜り総勢84人盛大に懇親会を終えました。一年前から家事、勤務の時間を割いての計画、準備を進め20周年の大会を運営されましたチーム野田の皆さまに感謝する記念総会でした。





2004年福岡少年ソフトボール大会

2011年3月、息子が福岡を旅立って間もなく、あの東日本大震災が起こりました。日本が甚大なる被災により悲しみと不安に支配されている中、息子の大学生活はスタートしました。本人はもとより親としても不安な気持ちでいたことを思い出します。ただ、大学でボクシングを続けることを目的に旅立っていたので、同じように地方から出てきたボクシング部の仲間にもまれていたことは、きつと心の支えになっていたことと思います。



堀田 いづみ (清本 法学部)

体育会応援26「ボクシング部」〜親からのメッセージ



2010年高校総体

幼い頃は喘息があり、発作が出るたび病院に駆け込んでいましたが、小学生になり兄の影響で地域のソフトボールクラブに入り、毎週土日には朝から夕方まで練習に励み、試合にも出場してゆく中で、体も少しずつ強くなり、恥ずかしがり屋で引つ込み思案な性格も、積極的に社交的な性格へと変化して行きました。6年生の運動会では、応援団長に選ばれるなど、息子の成長はスポーツとの出会いが大きかったと思います。中学生になると学校の野球部に入部し、高校生になっても野球を続けるものと思込んでいましたが、高校受験の際、選んだ志望校はボクシング部のある高校でした。「高校に入ったならボクシング部に入りたい」と言われた時はとても驚きました。ボクシングと聞いただけで危ない気がして、親としては複雑な思いがありました。息子の熱意に負けて入

8月24日(日)、今年90周年を迎える法政大学ラグビー部の激励と慶応大学とのオープン戦応援のため、ラグビーのメッカ長野県菅平高原にあるサニアパーク菅平に行つてまいりました。今にも雨の降り出しそうな天気でしたが、サニアパークでは他の大学のオープン戦も開催されており、大勢のラグビーファンで賑わっていました。後援会では長野県支部との共同企画として応援日を設定しました。長野県支部の方や全国の多くの会員、また長野県校友会からも参加いただきました。14時からメイングラウンドで行われた法政Aチームと慶応大

部を許可しました。それからは学校で練習し、家に帰ってからランニングをしたり、只々強くなりたいという気持ちで頑張っていました。そんな努力が実を結び高校3年生の時にはインターハイでベスト8、国体へも出場することができました。親としては息子の大学進学は地元



2010年高校総体

人としても納得のいく結果が出せず自信を無くし、ボクシングを始めて1度も聞いたことがなかった弱気な言葉を漏らしてしまいましたが、監督から次期主将を命ぜられ落ち込んでいた暇はなかったようでした。そして、今年のリーグ戦では、前年度に比較し更にレベルの上があった2部リーグにおいて、法政大学ボクシング部を5戦全勝によりリーグ優勝へと牽引し、昨年度入替戦で当たった大学との入替戦でも勝利し、新たな目標として掲げた1部リーグ復活を1年で成し遂げたのでした。これも、監督を始めコーチや先輩方のご指導のおかげと感謝いたしております。

来年からは社会人としていろいろな試練が待っていることと思いますが、ボクシングで培ったものを自信として、法政大学ボクシング部の誇りを持って頑張っていきたいと願っております。



2014年リーグ戦。向かって右が堀田選手

2014年度 支部総会・父母懇談会総括



後援会会長 池田 隆

今夏の支部総会・父母懇談会は、全国的に台風や豪雨に見舞われ、開催が危ぶまれることも多くありましたが、幸いにも一カ所も中止することなく7月12日(土)の岩手県、山梨県から始まり、8月31日(日)の徳島県を最後に、全国36支部にて無事終了することができました。今年の周年対象支部は、広島県が30周年、関西が20周年、宮崎県・福井県が10周年で、それぞれ記念式典が田中優子総長ご列席のもと華やかに行われました。まことにおめでとうございました。

その他の支部におかれましても、総長、常務理事・理事、学部長の



茨城県支部

先生方、職員の皆さまの心のこもったご対応、支部長をはじめとする支部役員の方々の皆さまのご尽力により、どこも記憶に残る総会・父母懇談会であったと思います。

今年の大学からのキーマッセージは「世界のどこでも生き抜く力」でした。グローバル化社会の中で魅力ある法政大学の実現に向けて、私達後援会も、大学や校友会と協力してさまざまな支援をしてまいりたいと思います。それに加えて、後援会本部では、保護者の皆さまからいただいたご意見、ご要望を参考に、我が子が通う法政大学と学生への支援をより充実させるべく、大学関係者と話し合いを重ねてまいります。引き続き後援会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



青森県支部

ラグビー部菅平オープン戦応援報告



総務 柳田 明彦 (真依子 経済学部)

学戦は、前半、法政が5トライを奪う一方、慶応大学を1トライにのみ抑え34対5と圧倒しました。後半は、慶応大学に4トライを献上しましたが、法政も2トライを追加し、最終的に46対31と快勝しました。Aチームの試合終了後に雨が降りだし、引き続き行われた法政Bチームと慶応大学の試合は雨中の試合となりました。こちらは15対55で残念ながら法政大学が負けてしまいました。Aチームの試合ぶりは、9月から始まる関東大学リーグ戦一部での躍進を大いに期待させるものでした。リーグ戦は東京の他、神奈川、埼玉、茨城の各地で開催されます。今、ラグビーは日本代表の活躍もあり、大変盛り上がりつつあります。2019年には日本でラグビーワールドカップも開催されます。



まだ観戦されたくない方もこの機会に是非会場に足を運んでいただき、ラグビーの面白さを味わっていただくとともに、法政大学ラグビー部への熱い応援をよろしく願います。

